

有限会社 南加賀造林に関する登録申請情報

上記記載の主たる事務所の所在地、代表者氏名等及び下表の林業経営体に関する情報について、知事が林業経営体名簿へ登録し、公表する情報として登録申請します。

注:認定事業主については、既に提出されている改善計画認定申請書又は改善措置実施状況報告に記載されている事項と同じならば、その記載を省略できる。

1. 雇用の状況

林業現場 作業職員数 (うち常用)	事務系等職員数 (うち常用)	雇用管理者の 選任の有無	雇用に関する 文書交付の有無		
8 人 (8 人)	0 人 (0 人)	有	有		
社会・労働保険等への加入状況					
労災保険	労災保険料率	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	退職金共済等
8 人	6 %	7 人	7 人	7 人	7 人
↓					
5年後の目標 (うち常用)					
9 人 (9 人)					

※職員数のうち常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがないか又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。)をいう。

※退職金共済等には、中小企業退職金共済制度、林業退職金共済制度のほか、都道府県独自の制度や任意積立金等を含めて記載すること。

注1 「雇用管理者」とは、「林業労働力の確保の促進に関する法律」第30条第1項及び厚生労働省令に基づき、森林施業を行う事業所ごとに、林業労働者の募集、雇入れ及び配置、教育訓練その他雇用管理に関する事項を管理するため選任された者のこと。

注2 「雇用に関する文書」とは、「林業労働力の確保の促進に関する法律」第31条及び厚生労働省令に基づき、事業主が林業労働者を雇い入れたとき、事業主が林業労働者に対して交付する、当該事業主の氏名又は名称、事業所の名称及び所在地、雇用期間、従事すべき業務の内容等に関する事項を明らかにした文書のこと。

2. 技術者・技能者の数

技術者・技能者数					
フォレスト ワーカー	フォレスト リーダー	フォレスト マネージャー	森林施業 プランナー	森林作業道 作設 オペレーター	技術士
4 人	2 人	0 人	0 人	2 人	0 人
技術者・技能者数					
技能士	林業技士	フォレスター (森林総合監 理士)			
0 人	0 人	0 人	人	人	

注1 フォレストワーカー(林業作業士)、フォレストリーダー(現場管理責任者)、フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)とは、「研修修了者に係る登録制度の運用について(平成10年4月1日付け10林野組第36号林野庁長官通知)」に基づき、林業労働力確保支援センター等が実施する研修を修了し、農林水産省が備える研修修了者名簿に登録された者のこと。

注2 森林作業道作設オペレーターとは、森林作業道作設オペレーター養成のための研修を受講するなどして、丈夫で簡易な作業道を作設する能力を有する者のこと。

注3 森林施業プランナーとは、森林施業プランナー育成のための研修を受講するなどして、森林施業の方針や間伐等の施業に係る事業収支を示した施業プランを森林所有者に説明・提案し、合意形成を図る者のこと。

注4 技術士とは、技術士法に基づく技術士(技術士補を含む。)のこと。

注5 技能士とは、職業能力開発促進法に基づく技能士(技能士補を含む。)のこと。

注6 林業技士とは、(社)日本森林技術協会の認定する林業技術士のこと。

注7 フォレスター(森林総合監理士)とは、森林法に基づく林業普及指導員資格試験の地域森林総合監理の区分に合格した者のこと。

3. 林業機械の保有状況

現状【登録時】										
グラブ ブル	プロセッ サ	ハーベス タ	フォワー ダ	スイング ヤーダ	タワー ヤーダ	フェラー バンチャ	スキッダ	グラブ プルソー		
5台	0台	1台	1台	0台	0台	0台	0台	1台	台	台
5年後の目標										
5台	0台	1台	1台	0台	0台	0台	0台	2台	台	台

※1年を超える契約のリース機械を含み、レンタル機械については含まないとする。

4. 事業量等

実績【事業期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日】							
	素材生産						
	主 伐			間 伐(更新伐含む)			
	面積(ha)	材 積(m ³)	生産性(m ³ /人日)	面積(ha)	材 積(m ³)	生産性(m ³ /人日)	
直営	13	6,278	8.0	13	2,807	5.5	
請負							
合計	(13)	(6,278)		13	(2,807)		
	造林事業			左記以外の 林業の 事業量	事業区域	素材生産の 請負がある場 合は、主な業 者名を記載	造林の請負 がある場合 は、主な業者 名を記載
	植 付(ha)	下刈り(ha)	その他				
直営	3	10			石川県		
請負					小松市、能美 市、加賀市、白 山市		
合計	(3)	(10)					

5年後の目標【事業期間 令和10年4月1日～令和11年3月31日】							
	素材生産						
	主 伐			間 伐(更新伐含む)			
	面積(ha)	材 積(m ³)	生産性(m ³ /人日)	面積(ha)	材 積(m ³)	生産性(m ³ /人日)	
直営	15	6,900	9.6	15	3,100	6.6	
請負							
合計	(15)	(6,900)		(16)	(3,100)		
	造林事業			左記以外の 林業の 事業量	事業区域	素材生産の 請負がある場 合は、主な業 者名を記載	造林の請負 がある場合 は、主な業者 名を記載
	植 付(ha)	下刈り(ha)	その他				
直営	5	15			石川県		
請負					小松市、能美 市、加賀市、白 山市		
合計	(5)	(15)					

※事業実績の事業期間は、登録申請をしようとする年の前年とすること。ただし、前年に実績がない場合は、登録申請しようとする年の1月1日から登録申請日までの期間とする。

※「直営」とは、事業主自身又は直接雇用する現場作業職員により実施したものをいう(以下、「直営施業」という)。

※「請負」とは、他者への請負により実施したものをいう。

※素材生産量は丸太材積とすること。

※生産性には、直営施業により実施したものについて記載すること。

※造林事業量のうちその他には、除伐、枝打ち等の保育作業について記載すること。

※「左記以外の林業の事業量」の欄には、森林作業道の開設・改良、山林種苗の生産等について記載すること。

5. 生産量の増加又は生産性の向上

- | | |
|--|-------------------------------------|
| | ある |
| ・ 生産量において5年間で約2割増加の目標 | <input type="checkbox"/> |
| ・ 生産性において5年間で約2割向上の目標 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ 既に一定の基準(生産量に関し5,000m ³ /年)以上の実績がある場合は、現状以上の目標 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ 既に一定の基準(生産性に関し間伐8m ³ /人日、主伐11m ³ /人日)以上の実績がある場合は、現状以上の目標 | <input type="checkbox"/> |

6. 生産管理又は流通合理化等

- | | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------|
| (1)適切な生産管理 | 取り組んでいる | 1年以内に
取り組む | 今後取り
組む | |
| ・ 作業日報の作成・分析による進捗管理・工程の見直し | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |
| ・ 作業システムの改善 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |
| ・ その他 (森林作業道作設オペレーターの
複数同時養成) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |

※上記4で、素材生産又は造林保育の事業量の目標がある場合、該当する項目にチェックする。

※「今後取り組む」欄は、現在取り組んでいないが、5年以内に取り組む意向を有する場合にチェックし、何年後に取り組む予定かを記載。(以後同じ)

- | | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------|
| (2)原木の安定供給・流通合理化等 | 取り組んでいる | 1年以内に
取り組む | 今後取り
組む | |
| ・ 製材工場等需要者との直接的な取引
(取引先名:) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |
| ・ 取りまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷
(取りまとめ機関名: かが森林組合) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |
| ・ 森林所有者や工務店等との連携 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |
| ・ その他 () | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | (年後) |

※流通合理化等の取り組みで、該当する項目にチェック。

(1)及び(2)の該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記載してください。

Googleの提供する表計算ソフトを使った出勤及び日報の一元管理。共有したすべての従業員が各項目の入力を行い、現場の進捗状況や歩掛などの情報が即時共有できる仕組みを構築している。全従業員が林業機械のオペレータに従事できる体制が構築済みなので、森林作業道の作設オペレータを複数名同時に養成し、複数現場の同時進行を試みている。経験年数など、個々の能力を生かした人員配置が可能で、様々なケースに対応できる。かが森林組合の協力事業体として、伐り出した原木は森林組合の那谷工場へ出荷している。

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む	今後取り 組む
・ 伐採と造林の一貫作業システムの導入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ コンテナ苗の使用	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 低密度植栽	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 下刈りの省略	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)

※造林・保育を行っている場合、該当する項目にチェック。

上記のうち該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記載してください。

伐採後は林業機械で地拵えを行い、人力に比べ高い生産性で再造林を行っている。距離による負担が小さい場合は、枝条の搬出も行い、植林面積の確保とより良い環境での保育作業を可能にしている。植栽にはコンテナ苗を使用し、コンテナ苗専用の自社保有穴掘り機と併用し植栽効率を高めた体制で取り組んでいる。また、苗の輸送にフォワーダを使用し、森林作業道を最大限活用している。植栽密度は1,500本/ha程度とし、状況(日当たりや下草の伸び具合)を考慮して下刈りの省略には積極的に取り組んでいる。

8. 主伐後の再造林の確保

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む	今後取り 組む
(1)主伐及び主伐後の再造林の一体的な実施体制			
・ 主伐と再造林の両方を直営施業又は他者への請負により実施する体制	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 連携する他の林業経営体と一体的に実施する体制 (連携相手等の名称:かが森林組合)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)

※上記4で、主伐又は植付の事業量の目標がある場合、該当する項目にチェック。

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む	今後取り 組む
(2)適切な更新			
・ 自己の所有する森林の主伐にあつては、主伐後の適切な更新の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 他者の所有する森林の主伐にあつては、事前に森林所有者等に対する適切な更新の働きかけ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)

※上記4で、主伐又は植付の事業量の目標がある場合、該当する項目にチェック。

(1)及び(2)の該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記載してください。

かが森林組合が施業地の取りまとめ等の業務を行い、現地での施業は自社が担っている。互いが専門化されることにより、生産性が向上している。枝条の搬出は採算性が低く、単独での事業化は難しいことから、伐採に用いた林業機械を使用することで機関の搬入費用等を削減することが通例となっている。施業場所が内定した時点で近隣所有者への声掛けを行い、施業面積の拡大と高効率化を図り、同時期伐採による同時期再造林、同時期保育を促進している。(隣地に若木が植栽されている場合、残された林地の素材生産効率が著しく低下するため)

9. 素材生産や造林・保育の実施体制の確保

	3年間 以上	1年間 以上	1年間 未満
・ 素材生産の事業実績又は、所属する現場作業職員の現場従事実績	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・ 造林・保育の事業実績又は、所属する現場作業職員の現場従事実績	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

10. 伐採・造林に関する行動規範の策定等

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む	今後取り 組む
・ 経営体独自の行動規範の策定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 所属する業界団体等による行動規範の策定 (策定主体:)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 県・市町等行政の策定したガイドラインの遵守 (策定主体:)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)

※上記4で、素材生産又は造林保育の事業量の目標がある場合、該当する項目にチェックする。

上記のうち該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記載してください。

県策定の『伐採作業と造材作業の連携等に関するガイドライン』を厳守する。また弊社でも雇用契約書を一新し、同時に就業規則と行動規範を含む内容にした。※別紙参照。そのほか、林業・木材製造業労働災害防止規定に基づき、定期的な安全講習会を行い、禁止行動の確認をしている。

11. 雇用管理の改善と労働安全対策

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む	今後取り 組む
(1)雇用管理の改善			
・ 現場作業員の常用化	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 現場作業職員への月給制の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 計画的な研修実施などの教育訓練の充実	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 退職金共済への加入などの福利厚生 of 充実	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
(2)労働安全対策			
・ リスクアセスメント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 防護具等の着用の徹底	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 作業現場の安全巡回	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ 専門家による安全診断・指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
・ その他 (同業者による共同パトロールの実施)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (年後)
(3)意欲と能力のある林業経営者として必要な取り組み			
・ 現場作業職員等に対し、労働安全衛生法に基づく安全衛生教育を行っていること	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・ 労働者災害補償保険に加入していること(一人親方等の特別加入を含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
・ 健康保険法第48条及び厚生年金保険法第27条並びに雇用保険法第7条の規定による届出を行っていること(届出の義務がない場合を除く)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

(1)(2)(3)の該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記載してください。

定年退職や期間の定めのない雇用契約を交わし、年に一度従業員聞き取りを行っている。雇用条件においては、月給制の選択も出来るようにしているが、今のところ希望が無いので実施していない。自社負担による免許の取得要望等の聞き取りも同時に行い、要望があった場合は応えている。早い段階での資格の取得や、緑の雇用制度を活用した新人育成や中堅育成にも積極的に取り組んでいる。林退共から中退共へ乗り換え、退職金の掛け金についても全体で増額した。現場の巡回は同業他社で結成されたかがみどり会による共同パトロールが定期的を実施され、様々な意見交換等が行われている。

12. コンプライアンスの確保

- | | はい | いいえ |
|--|--------------------------|-------------------------------------|
| ・ 業務に関連して法令に違反し、代表役員等や一般役員等が逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起されたときから1年間を経過していない者である | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ 業務に関連して法令に違反し、事案が重大・悪質な場合であって再発防止に向けた取組が確実に行われると認められない者である | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ 国、都道府県又は市町村から入札参加資格の指名停止を受けている者である(ただし、指名停止を受けている者は、停止期間中のみ公表リストから除外する) | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ 10の行動規範等に違反した行為をしたと認められる者である | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・ その他森林の経営管理を適切に行うことができない又は森林の経営管理に関し不正若しくは不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者である(破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者や暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第32条第1項各号に掲げる者等) | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

13. 常勤役員の設置(※法人のみ)

既に常勤役員を設置している場合、常勤役員の状況について記載してください。

役職	(フリガナ) 氏名
取締役	コフジタロウ
	小藤太郎

現在常勤役員を設置していない場合、設置に向けた取組について記載してください。

14. その他知事が定める情報

注1 その他知事が定める情報には、地域への貢献(国土緑化への貢献、防災活動、ボランティア活動等)、表彰実績、経営の健全性(FSC森林認証、SGEC「緑の循環」認証、ISO取得状況、実践体制基礎評価等)、指名停止処分の状況等を記載すること。

注2 注1のうち、実践体制基礎評価とは、林野庁補助事業「森林施業プランナー育成対策事業」実施要領に基づいて、提案型集約化施業(以下「提案型施業」という。)に取り組む林業事業者について、提案型施業を実施する体制が構築されているかを公正・中立な外部機関が評価する仕組みをいう。